

室生

文化遺産でありシャクナゲの名所である室生寺や大野寺磨崖仏等と周囲の自然が特徴ある景観を形成している地区

整備のコンセプト:

室生周辺の眺めと彩りの魅力向上

H27.6改訂
H28.6改訂
R3.4改訂

◆植栽景観の現状の課題

- ・室生寺から仏隆寺にかけて良好な景観が形成されているが、眺望の支障となる樹木が見られ、また視点場が不足している。
- ・県道周辺等では彩り植栽等がなされているが、一部管理不足などところがある。

課題解決への主な対応

- ・支障木の伐採
- ・視点場の整備
- ・彩り植栽の充実等

【今後の連携方策】 一部、民地の植栽管理が望ましい箇所もあり、地域と一体となった植栽景観の向上に向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



林道赤埴カトラ線からのぞむ棚田景観

□林道赤埴カトラ線

長期

眺望を阻害する支障木の伐採や採光を阻む樹木の間伐を行い、眺望が開けた場所については視点場整備を行うことが望ましい

現況写真



長期

農村風景など良好な景観を眺望できるように視点場整備を行うことが望ましい

現況写真



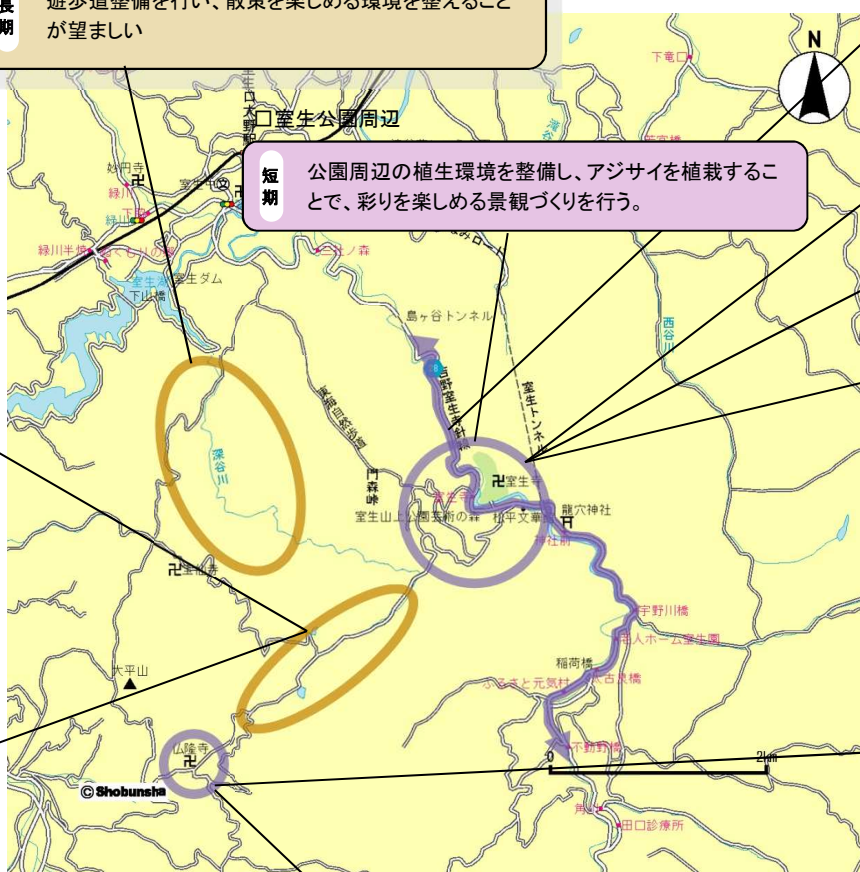
□竜鎮溪谷周辺

長期

遊歩道整備を行い、散歩を楽しめる環境を整えることが望ましい

短期

公園周辺の植生環境を整備し、アジサイを植栽することで、彩りを楽しめる景観づくりを行う。



□県道28号吉野室生寺針線

管理

沿道のプランター等の花卉について適正管理を行い、おもてなしの景観づくりを図ることが望ましい

□室生寺周辺

管理

ひまわり畑の良好な景観を維持することが望ましい

短期

植生環境を整備し、シャクナゲの生育環境を改善させる

短期

シャクナゲを植栽し、良好な景観の保全を図る

イメージ



□佛隆寺周辺

短期

彼岸花を植栽し、彼岸花の名所再生を図る

イメージ

